



2022年5月10日

各位

会社名 株式会社大水

代表者名 代表取締役社長執行役員 山橋 英一郎

(コード：7538、東証スタンダード市場)

問合せ先 管理本部総務広報部長 山本 敬史

(TEL. 06-6131-5190)

**通期連結業績予想と実績値との差異並びに剰余金の配当（減配）に関するお知らせ**

当社は、2021年11月4日に公表しました2022年3月期の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、2022年5月10日開催の取締役会において、下記のとおり2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、あわせてお知らせします。

## 1. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1)2022年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 90,000	百万円 50	百万円 150	百万円 200	円 銭 15.12
実績値（B）	88,788	△190	△119	△18	△1.38
増減額（B-A）	△1,212	△240	△269	△218	
増減率（%）	△1.3	—	—	—	
（参考）前期連結実績 （2021年3月期）	114,239	△81	46	653	47.73

## (2)差異の理由

当社グループの2022年3月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が2022年3月期の下期から徐々に薄れていくとの仮定に基づいておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は変異株の出現等により通期に及びました。また、それに伴う運送コスト等諸経費の上昇や、ウクライナ情勢の緊迫化による仕入価格の高騰が利益を圧迫しました。その結果、売上、各利益ともに2022年3月期の通期連結業績予想値を下回りました。

なお、当社グループは2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準29号2020年3月31日）等を適用しております。これに伴い、2022年3月期における売上高は、2021年3月期と比較して大きく減少しております。

## 2. 剰余金の配当（減配）について

### (1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年2月3日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	4円	5円	5円
配当金総額	53百万円	—	66百万円
効力発生日	2022年6月7日	—	2021年6月7日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2)減配の理由

当社は、「配当政策に関する基本方針」として、将来に向けた安定的な収益基盤づくりのために内部留保の充実を図り、安定した配当を行うことを掲げております。配当金につきましては、業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針であります。

上記配当方針の下、当期の業績や今後の事業展開等を総合的に勘案し、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を直近の配当予想から1円減額し、1株につき4円とすることを決定いたしました。

なお、次期の年間配当金については、当期より1円増額となる1株当たり5円を予定しております。

以 上